	項 目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
	2551	フェノバルビタール 3L175-0000-023-062 3L175-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤	ラテックス	μg/mL 治療有効濃度		フェノバール、 ワコビタール、
	2001		血漿0.5	19	冷蔵	, 2	治療管理料	凝集法	15~40	次回投与直前	ルミナール
	2552	プリミドン	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	治療有効濃度	(Trough濃度)	プリミドン、
	2002	3L190-0000-023-024 3L190-0000-022-024	血漿0.3	19	冷蔵				5.0~12.0		プリムロン *02
	2553	フェニトイン	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤	ラテックス	μg/mL 治療有効濃度	経口:次回	アレビアチン、 ヒダントール、
抗 て		3L185-0000-023-062 3L185-0000-022-062	血漿0.5		凝集法	10.0~20.0	投与直前 (Trough濃度) 静注:投与後 2~4時間	ジフェニルヒダントイン			
h	1137	遊離フェニトイン 3L187-0000-023-062	血清1.0	1	(分離後) 凍結 (14日)	5~11	特定薬剤 治療管理料	限外ろ過法 EIA法	μg/mL 治療有効濃度 1.0~2.0		アレビアチン、 ヒダントール、 ジフェニルヒダントイン *02
かん	2554	カルバマゼピン 3L115-0000-023-062 3L115-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	-1~2 -3~5	特定薬剤治療管理料特定薬剤	ΕΙΛŒ	μg/mL 治療有効濃度 4.0~12.0	次回投与直前 (Trough濃度)	テグレトール、 テレスミン、
利	200 1		血漿0.5	19	冷蔵						レキシン
	2555	エトスクシミド	血清0.5	1	冷蔵				μg/mL 治療有効濃度		ザロンチン、
	2000	3L135-0000-023-024 3L135-0000-022-024	血漿0.5	19	冷蔵		治療管理料	=17 172	40.0~100.0		エピレオプチマル *02
	2559	バルプロ酸 3L195-0000-023-062 3L195-0000-022-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤	ラテックス 凝集法	μg/mL 治療有効濃度		デパケン、 セレニカR、
			血漿0.5	19	冷蔵		治療管理料		50~100		バレリン、 ハイセレニン
	1139	遊離バルプロ酸 3L196-0000-023-024	血清1.0	1	(分離後) 凍結 (14日)	5~11	特定薬剤 治療管理料	限外ろ過法 EIA法	μg/mL 治療有効濃度 5.0~15.0		デパケン、 セレニカR、 バレリン、 ハイセレニン *02

採血時刻についての注意事項

- 2 連続投与においては定常状態到達、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。





	項 目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
	1117	ゾニサミド 3L210-0000-023-204	血清0.3	1	冷蔵	4~5	特定薬剤 治療管理料	HPLC法	μg/mL 治療有効濃度 10.0~30.0	投与直前 (Trough値)	エクセグラン *01
	1118	トリメタジオン 3L205-0000-023-210	血清0.5	1	(分離後) 凍結	7~13	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 300.0~500.0		ミノアレ (活性代謝物であるジ メタジオンを測定) ※01
	2557	クロナゼパム 3L125-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL 治療有効濃度 20~70	次回投与直前 (Trough濃度)	リボトリール、 ランドセン *02
	2558	ニトラゼパム 3L165-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LO-IVIO/IVIO	ng/mL 治療有効濃度 20~200	次回投与直前 (Trough濃度) ただし、抗て	ベンザリン、 ネルボン *02
抗	5372	ジアゼパム 3L130-0000-023-204	血清0.5	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	HPLC	ng/mL ジアゼパム治療有効濃度 600~1000	んかん剤として用いる場合	N-デスメチルジア ゼパムも同時報告 いたします。 *02
て	4651	クロバザム 3L145-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL		デスメチルクロバ ザムも同時報告い たします。 マイスタン *02
h	1425	アセタゾラミド 3L950-0000-023-204	血清0.3	1	冷蔵	4~10	特定薬剤 治療管理料	HPLC	μg/mL		ダイアモックス *02
か	4867	ガバペンチン 3L215-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		ガバベン錠 ※02
ん剤	4945	ラモトリギン 3L220-0000-022-210	血漿0.3	19	(分離後) 凍結	4~7	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 トラフ値 2.50~15.00		ラミクタール *01
	4997	レベチラセタム 3L230-0000-022-205	血清0.3	1	(分離後) 凍結	4~5	特定薬剤 治療管理料	LC-MS	μg/mL 治療有効濃度 トラフ値 12~46		イーケプラ ※06
	4960	トピラマート 3L225-0000-022-205	血清0.3	1	(分離後) 凍結	4~5	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 トラフ値 5~20		トピナ ※06
	3465	ラコサミド 3L248-0000-022-205	血漿0.3	13	(分離後) 凍結	4~5	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	ビムパット ※06
	3466	ペランパネル 3L245-0000-022-205	血漿0.3	13	(分離後) 凍結	4~5	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		フィコンパ *06
少丰	3459	リチウム 3L320-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	3~4	特定薬剤 治療管理料	原子吸光法	mEq/L 治療有効濃度 0.3~1.2	早朝投与前	採血時刻について の注意事項は下記 をご参照ください。 リーマス、 リチオマール *06
精神神経用剤	2463	ハロペリドール 3L300-0000-023-117	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料		ng/mL 治療有効濃度 3.0~17.0	投与直前 (Trough濃度)	セレネース、 ハロマンス、 リントン、 ネオペリドール、 ハロステン *01
悄	5236	ブロムペリドール 3L302-0000-023-064	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	金コロイド 凝集法	ng/mL 至適血中濃度 15以下	随時(ただし採血 時刻を一定とする)	ハロハドール・ガ、になって、リリドール・レックで、リリック交換ので、リリックで、リカンができます。 いっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい
強			血清0.5	1	_		社合物的	== 4.7	ng/mL	間~次回投与直	
心剤	2572	ジゴキシン 3L765-0000-023-062 3L765-0000-022-062	血漿0.5	19	冷蔵	1~2	特定薬剤治療管理料	ラテックス 凝集法	治療有効濃度 0.9~2.0	前(消失相) 静注:投与後4時間~次回投与直前(消失相)	ジゴシン

採血時刻についての注意事項

特定薬剤治療管理料(54ページ参照)

- TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。







	項 目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
	5388	リドカイン 3L875-0000-023-024	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 1.2~5.0	静注:投与後2時間 点滴静注:6~12時間	キシロカイン *02
	5007	L - > "> .	血清0.4	1	冷蔵		特定薬剤		μg/mL 治療有効濃度		
	5387	キニジン 3L900-0000-023-062 3L900-0000-022-062	血漿0.4	19	冷蔵	3~9	治療管理料	EIA法	2.0~6.0		硫酸キニジン *02
	5451	ジソピラミド 3L865-0000-023-024	血清0.4	1	冷蔵	3~4	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 2.0~5.0	次回投与直前 (Trough濃度)	ノルペース、 リスモダン、 カフィール、 リスラミドR *06
不	0574	プロナ ノン・コン ! **	血清0.4	1	冷蔵	0 5	特定薬剤		μg/mL 治療有効濃度		塩酸プロカインアミド
	2574	プロカインアミド 3L890-0000-023-024 3L890-0000-022-024	-023-024 血漿0.4 19 冷蔵 治療管理料 EIA	EIA法	4.0~10.0		アミサリン *02				
整	2363	プロパフェノン 3L897-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料		ng/mL		プロノン *02
脈	5407	メキシレチン 3L880-0000-023-205	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料		μg/mL 治療有効濃度 0.5~2.0	経口:次回投与直前 (Trough濃度) 静注:随時	メキシチール、 メキシレート、 *02
用	0.4.00	1.84 > 1.4-1.8	血清0.3	1	冷蔵		6 特定薬剤		μg/mL Peak 濃度	次回投与直前 (Trough濃度)	タツピルジン
剤	0168	ピルシカイニド 3L896-0000-023-205 3L896-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	治療管理料		0.2~0.9		サンリズム ピリジニック アリスリズム *02
			血清0.3	1	冷蔵		特定薬剤	LC-MS/MS	ng/mL Trough濃度	都 投与直前	
	1460	3L898-0000-023-205	血漿0.3	19	冷蔵		治療管理料		70~250	朝投与直前 (Trough濃度)	シベノール *02
		3L898-0000-022-205 フレカイニド 3L905-0000-023-205 3L905-0000-022-205	血清0.3	1	冷蔵	_	特定薬剤治療管理料		ng/mL 治療有効濃度		
	5238		血漿0.3	19	冷蔵	4~6			200~1000	次回投与直前 (Trough濃度)	タンボコール *02
	5055	ベプリジル 3L802-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵 (21日)	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	ng/mL 250~800	投与後3時間 (Peak値)	ベプリコール ※02

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。





	項 目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
	4602	ピルメノール 3L899-0000-022-204	血漿1.3	19	冷蔵	4~7	特定薬剤 治療管理料	HPLC	ng/mL 治療有効濃度 400.0以上	随時	ピメノール *02
不	1116	アプリンジン	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL 治療有効濃度	経口:次回投与直前 (Trough濃度) 投与2~4時間 (Peak濃度)	アスペノン
整		3L855-0000-023-205 3L855-0000-022-205	3L855-0000-023-205 血漿0.3 19	, ,	冶療管埋料	20 mo/mo	0.25~1.25	静注:次回投与直前 (Trough濃度)	*02		
脈用		アミオダロン 3L800-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤治療管理料	LC-MS/MS	n g/mL	次回投与直前	アミオダロン 有効血中濃度: 500~1000ng/mL (200mg/日投与、 定常状態、トラフ値) Desethyl Amiodaron/ Amiodaron=0.8 (定款態)。 アンカロン *02
剤	E206		血清0.3	1	∨ ≠	E 11		LIDI C	ng/mL 治療有効濃度	(Trough濃度)	インデラル、
	5386	プロプラノロール 3L895-0000-023-204 3L895-0000-022-204	血漿0.3	19	冷蔵	5~11		HPLC	50~100		ヘルツベース *02

	2579	ゲンタマイシン 3M606-0000-023-024	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	^{μg/mL} Peak 15~20 Trough 1未満	点滴開始1時間後(30分で投与した場合、終了30分後)(Peak濃度)投与前30分以内(Trough濃度)	ゲンタシン、 エルタシン、 ルイネシン *02
	2578	トブラマイシン (ピーク値) _{3M602-0000-023-024}	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 15~20	点滴開始1時間後(30 分で投与した場合、終 了30分後)(Peak濃度)	トブラシン
抗	4857	トブラマイシン (トラフ値) _{3M602-0000-023-024}	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 1未満	投与前30分以内 (Trough濃度)	*02
生	2576	アミカシン 3M601-0000-023-062	血清0.4	1	(分離後) 凍結	3~5	特定薬剤治療管理料	EIA法	μg/mL Peak 50~60 Trough 4未満	点滴開始1時間後 (30分 で投与した場合、終了30 分後) (Peak濃度) 投与 前30分以内(Trough濃度)	アルベカシンとの 交差反応があるの でご注意ください。 アミカマイシン、 ビクリン *02
物質	1426	アルベカシン 3M613-0000-023-062	血清0.3	1	(分離後) 凍結 (21日)	3~5	特定薬剤治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL Peak 15~20 Trough 1~2未満	点滴開始1時間後(30 分で投与した場合、 終了30分後) (Peak 濃度) 投与前30分以 内 (Trough濃度)	ハベカシン *02
製	5482	バンコマイシン 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL 未設定	投与前30分以内	
剤	4796	バンコマイシン トラフ値 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μ g/mL Trough 10~15	(Trough濃度)	塩酸バンコマイシン
	4797	バンコマイシン ピーク値 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL 未設定	未設定	
	4541	テイコプラニン 3M532-0000-023-062	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL Trough 15~30	投与前30分以内 (Trough濃度)	下記参照 タゴシッド *02
	4868	ボリコナゾール 3M698-0000-022-205	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		ブイフェンド *02

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

[4541] テイコプラニン検査について

医薬品添付文書には、「テイコプラニンのトラフレベルの血中濃度は、敗血症などの重症感染においては確実な臨床効果を得るために10 μ g/mL以上を保つこと。但し、トラフレベルの血中濃度が 60μ g/mL以上になった場合には腎障害、聴覚障害等の副作用の発現に注意すること。またトラフレベルの血中濃度が 20μ g/mL以上で一過性に肝機能検査値が軽度上昇したとの報告がある。(医薬品添付文書;2003年1月改訂第8版より)」の内容が記載されております。





哲
呆
坳
12
仭
杏

	項 目 コード	検 査 項 目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備 考 (製品名、薬剤名等)
	5379	サリチル酸 3M205-0000-023-271	血清0.4	1	冷蔵	3~5	特定薬剤治療管理料	酵素法	μg/mL 抗炎症作用として 治療有効濃度 100~250		アスピリン、 バファリン *02
7	2229	シクロスポリン 3M805-0000-019-053	血液0.7 (EDTA·2K加) 単独検体	69	凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	ECLIA法	ng/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	他の検査項目との 同時依頼はできま せんのでご注意く ださい。 ネオーラル ※02
O.	4645	タクロリムス 3M810-0000-019-053	血液0.7 (EDTA·2K加) 単独検体	69	凍結	3~5	特定薬剤治療管理料	ECLIA法	ng/mL		他の検査項目との 同時依頼はできま せんのでご注意く ださい。投与量を 明記してください。 プログラフ *02
ft		3 メトトレキサート 3M725-0000-023-024 3M725-0000-022-024	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤	EIA法	μmol/L 危険限界濃度 24時間値 10以上	メトトレキサー ト・ロイコポリ	メソトレキセート
	3433		血漿0.5	19	刀限	3~5 治療	治療管理料	CIA/A	48時間値 1以上 72時間値 0.1以上	ン救援療法時 24,48,72時間	リウマトレックス *02
	2556	テオフィリン 3M070-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL 治療有効濃度 10~20	下記参照☆	テオドール、 テオロング、ユニフィル

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

☆経□:徐放性製剤では投与後4時間、裸錠では投与後2時間 (Peak濃度)、次回投与直前 (Trough濃度)

静注:投与後30分、点滴開始後4~6、および12~18時間







特定薬剤治療管理料

- ●特定薬剤治療管理料は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
- ●同一の患者につき特定薬剤治療管理料を算定すべき測定及び計画的な治療管理を月2回以上行った場合においては、特定薬剤治療管理料は1回に限り算定することとし、第1回の測定及び計画的な治療管理を行ったときに算定する。
- ●本管理料には、薬剤の血中濃度測定、当該血中濃度測定に係る採血及び測定結果に基づく投与量の管理に係る費用が含まれるものであり、1月のうちに2回以上血中濃度を測定した場合であっても、それに係る費用は別に算定できない。ただし、別の疾患に対して別の薬剤を投与した場合(例えば、てんかんに対する抗てんかん剤と気管支喘息に対するテオフィリン製剤の両方を投与する場合)及び同一疾患について、同一の区分に該当しない薬剤を投与した場合(例えば、発作性上室性頻脈に対してジギタリス製剤及び不整脈用剤を投与した場合)はそれぞれ算定できる。
- ●薬剤の血中濃度、治療計画の要点を診療録に記載する。
- ●特殊な薬物血中濃度の測定及び計画的な治療管理のうち、特に本項を準用する必要のあるものについては、その都度当局に内議し、最も近似する 測定及び治療管理として準用が通知された算定方法により算定する。

薬物名	検査項目	特定薬剤	台療管理料	加算点	備考		
米彻石	(算定備考上の名称)	1~3ヶ月	4ヶ月以降	加昇紀	ин ⁴5		
抗てんかん剤(てんかん)	フェノバルビタール、プリミドン、フェニトイン、カルバマゼピン、バルブロ酸ナトリウム、エトスクシミド、トリメタジオン、クロナゼバム、ニトラゼタム、ジアゼバム、レベチラセタム、ガバベンチン、クロバザム、レベチラセタム、	単一薬剤 470点 複数薬剤	単一薬剤 470点 複数薬剤	280点	ジギタリス製剤の急速飽和を行った場合又はてんかん 重積状態の患者に対して、抗てんかん剤の注射等を行		
	ラモトリギン、トピラマート、スチリペントール、ルフィナミド、ペランパネル、ラコサミド	470点 ×2	470点 ×2	(薬剤の投与を 行った初回月に 限る)	った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り74点を特定薬剤治療管理料として算定する。		
ジギタリス製剤 (心疾患)	ジゴキシン			,,			
アミノ配糖体抗生物質 〈入院中〉	ゲンタマイシン、トブラマイシン、アミカシン、 アルベカシン						
グリコペプチド系抗生物質 〈入院中〉	バンコマイシン			530点 (薬剤の投与を 行った初回月に 限る)			
	テイコプラニン						
トリアゾール系抗真菌剤 (入院中) (重症または難治性真菌感染症、造血幹細胞移植(深在性 真菌症の予防を目的とするも のに限る))	ボリコナゾール		235点				
テオフィリン製剤 (備考参照)	テオフィリン				気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、 肺気腫又は未熟児無呼吸発作		
不整脈用剤(不整脈)	キニジン、プロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、リドカイン、アブリンジン、ピルジカイニド塩酸塩、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンゾリンコハク酸塩、ピルメノール、アミオダロン、ソタロール塩酸塩、ベブリジル塩酸塩			280点 (薬剤の投与を 行った初回月に 限る)			
ハロペリドール製剤 ブロムペリドール製剤 (統合失調症)	ハロペリドール ブロムペリドール						
リチウム製剤 (躁うつ病)	リチウム						
バルプロ酸ナトリウム カルバマゼピン (躁うつ病または躁病)	バルプロ酸ナトリウム カルバマゼピン	470点	470点				
会,京抓出到 (哔叽拉拉冰)	シクロスポリン タクロリムス水和物			2740点 (臓器移植を行			
免疫抑制剤(臓器移植後)	エベロリムス *2 ミコフェノール酸モフェチル *1			った月から3月 以内)	*3		
免疫抑制剤(備考参照)	シクロスポリン		470点		ベーチェット病の患者であって活動性・難治性眼症状を有するもの又はその他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る。)、再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型量症筋無力症、アトビー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者に限る。)、ネフローゼ症候群若しくは川崎病の急性期		
免疫抑制剤(備考参照)	タクロリムス水和物			280点	全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、 潰瘍性大腸炎又は間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋 炎に合併するものに限る。)		
サリチル酸系製剤 (備考参照)	サリチル酸			(薬剤の投与を 行った初回月に 限る)	若年性関節リウマチ、リウマチ熱又は慢性関節リウマ チ		
メトトレキサート (悪性腫瘍)	メトトレキサート			NX.0)			
バルプロ酸ナトリウム (片頭痛)	バルプロ酸ナトリウム						
イマチニブ	イマチニブ		235点				
エベロリムス (結節性硬化症)	エベロリムス						
シロリムス製剤(リンパ脈管筋腫症)	シロリムス						
スニチニブ(腎細胞癌)	スニチニブ	ED. 1 & 5 - 1 **	Wilthia 12 1 .	(a-r) x 2 x 2 x 2 x 2 x 2 x 2 x 2 x 2 x 2 x	ンプ 左姉が心亜と認め 同二麻日に血山の海粉の免疫抑制		

- *1 ミコフェノール酸モフェチルを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、6月に1回に限り250点を所定点数に加算する。加算を算定する場合は、ミコフェノール酸モフェチルの血中濃度測定の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に詳細を記載すること。
 *2 エペロリムスを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、
- *2 エベロリムスを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、医師が必要と認め、同一暦月に血中の複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、 その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、エベロリムスの初回投与を行った日の属する月を含め3月に限り月1回、4月目以降は4月に1回に限り250点を所定点数 に加算する。
 - に記弄する。 加算を算定する場合は、エベロリムスの初回投与から3月の間に限り、当該薬剤の血中濃度測定の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に詳細を記載すること。

*3 2740点の加算を算定する場合には、*1、*2に規定する加算は算定できない。また、*1及び*2に規定する加算は同一月内に併せて算定できない。